

ウガンダ国月報(2014年1月)

主な出来事

【内政】

- 14日, ウガンダ国民議会はウガンダ国軍の南スーダン派兵を承認する決議を可決。
- 17日, オウラ陸尉がセジュサ将軍の後任としてウガンダ国軍(UPDF)代表議員に選出。
- ムセベニ大統領はカダガ国民議会議長宛親書の中で, 反同性愛者法案の再審議を要請。

【外政】

- 9日, カダガ国民議会議長は, 当地西側諸国外交団(大使)に対し, 反同性愛者法案を通過させないための圧力をかけることを止めるよう要請。
- 15日, ムセベニ大統領は, UPDFが南スーダン軍(SPLA)に協力して, 反政府勢力と戦闘状態にあることを表明。一方, 26日, UPDF派兵はウガンダ国民の経済権益を守るためと発言。

【経済】

- スタンダード・アンド・プアーズ社, 政府歳入の減少及びドナーによる援助一時停止にもかかわらず公共投資が増加したことを理由に, ウガンダの長期外貨建て・内貨建てソブリン格付けを「B+」から「B」へ格下げ。
- 初の国家労働調査によれば, ウガンダの正規雇用者の平均月給は50万シリング(約200米ドル), 非正規雇用者の平均月収は12.33万シリング(約49.32米ドル)であることが判明。
- IMF, インフラ投資を増加させるため, 非譲許的借入の限度額を15億米ドルから22億米ドルに引き上げたいとするウガンダ政府の要請を承認。
- 1月のインフレ率6.9%(前月6.7%)。

【経済協力】

- 中国, PKO 部隊として派遣されるウガンダ軍の能力開発のため, 無償資金200万中国元(約332万米ドル)をウガンダ軍に供与。
- 28日, ムセベニ大統領や当地出張中の田中 JICA 理事長が出席し, 我が国有償資金協力「ナイル架橋建設計画」の起工式が実施された。

【内政】

- ・14日, ウガンダ国民議会はムセベニ大統領の要請を受けて特別議會を招集し, ウガンダ国軍の南スーダン派兵を承認する決議を可決した(15日ニュービジョン紙3面)。
- ・反同性愛者法案に関し, ムセベニ大統領はカダガ国民議会議長宛親書の中で, 同性愛者を「異常」と指摘しつつも, 反同性愛者法案を議會の定足数で可決していなかったことから, 法案の再審議を要請。ムババジ首相も同様の声明を発表。反同性愛者法案は2009年10月に与党NRMに属するバハティ(Bahati)議員により提出されたが, 2013年再提出され, 法務・公務委員会(the Committee on Legal and Parliamentary Affairs)の審議にかけられた。ウガンダ国民議會によれば, 法案は12月20日に議會を通過した(7日付ニュービジョン紙3面, 16日付デイリーモニター紙5面, 16日付ニュービジョン紙5面, 17日付デイリーモニター紙5面)。

- ・セジュサ(Sejusa)中將に代わるウガンダ国軍代表を選出するための補欠選挙は、当初予定されていた15日の投票が延長された後、17日に開催され、オウラ(Oula)陸尉が後任として当選。セジュサ中將はかつてウガンダ諜報機関に所属していたが、5月に(大統領の息子であるムホージ准將を次期大統領にさせるという)「ムホージ計画」に反対する政府関係者を暗殺を企てている疑いがあるとして、カイフラ警察庁長官及びサレ大將(ムセベニ大統領の弟)を含む軍上層部を捜査するよう公安委員会に要求した直後、軍機関及び国民議会議長に無断で英国へ出国したことが原因で議席を失った(13日付ニュービジョン紙6面、15日付ニュービジョン紙3面)。
- ・19日、ムババジ(Mbabazi)首相によれば、10月に開催予定のウガンダ殉教者の列聖式50周年記念式典にローマ法王を招待し、法王側は招待を受諾した(20日付ニュービジョン紙3面)。
- ・神の抵抗軍(LRA)を率いたコニー(Kony)は、ウガンダ国軍による北部地域や南スーダンにおける戦争犯罪を批判しつつも、ウガンダ政府との和平交渉の用意がある旨表明(27日付デイリーモニター紙6面)。
- ・最大野党のFDC(Forum for Democratic Change)オグトゥ(Oguttu)報道官によれば、近くFDC構造改革が見込まれるものの、野党連合の党首かつFDCの首席院内幹事であるマファビ(Mafabi)議員は現職にとどまる見込み(28日付ニュービジョン紙7面)。
- ・ウガンダ国民議会の大統領事案委員会は、6万人を超える南スーダン難民に関する答弁を求めてムババジ首相を召喚。エクウェル(Ecweru)災害対策国務大臣によれば、コンゴ(民)、南スーダン、ソマリア、ケニア、タンザニア、ブルンジ、ルワンダから、総計31万7千人の難民がウガンダに流入しており、その内、5万332人の難民がアドウジュマニ(Adjumani)県、8,775人がアルア(Arua)県、7162人がキリアンドンゴ(Kiyandongo)県に定住している(29日付デイリーモニター紙8面、31日付ニュービジョン紙7面)。

【外政】

- ・9日、カダガ国民議会議長は、当地西側諸国外交団(大使)に対し、ウガンダは主権国家であることを強調しつつ、(議会で審議されている)反同性愛者法案を通過させないための圧力をかけることを止めるよう求めた(10日付デイリーモニター紙6面)。
- ・9日、ムセベニ大統領は、ギャラン(Garang)女史(ギャラン元SPLAリーダーの未亡人。マシャール前大統領側とされている)と会談し、二国間関係等について協議した(10日付ニュービジョン紙及びデイリーモニター紙1面及び4面)。
- ・オポロット(Opolot)ウガンダ外務省報道官は、ウガンダ政府はキール(Kiir)南スーダン大統領の正式要請を受け、ウガンダ国軍(UPDF)の南スーダン展開を拡大させている旨述べた(後日、南スーダン国会議長は、キール大統領の正式要請が書簡でなされたことを否定している)。UPDFは主要施設の警護、国外退避活動、人道支援等に従事している。一方、15日、ムセベニ大統領は、アンゴラで開催された大湖地域国際会議(ICGLR)首脳会合において、UPDFが南スーダン軍(SPLA)に協力して、反政府勢力と戦闘状態にあることを明らかにした。ウガンダ・南スーダン軍にかかる地位協定によると、ウガンダは南スーダンにおける戦闘にかかるUPDF関連コストを

負担することとなっている。一方、UPDFの関与及び駐留期間等は明記されておらず、UPDFが南スーダンを自由に出入りできるとされている(その詳細は公開されていない)。かかる事情から、UPDFの南スーダン派兵に反対する議員もいる。23日、ウガンダを訪問中のルンディアル(Rundial)国会議長は、UPDFの南スーダンへの展開は時宜を得たものであった旨述べた(なお、同日、南スーダン政府と反政府勢力は停戦に合意したものの、26日には戦闘が一部再開された)。26日、ムセベニ大統領は、解放28周年記念式典において、南スーダンへのUPDF派兵は、ウガンダの経済権益を守るためである旨述べた(10日付ニュービジョン紙5面、16日付ニュービジョン紙3面、17日付デイリーモニター紙4面、24日付ニュービジョン紙6面、27日付デイリーモニター紙4面)。

・南スーダンへのUPDF派兵に関し、スーダン及びエチオピア政府(外務大臣レベル)はウガンダの介入に懸念を表明している。また、東アフリカ共同体(EAC)議長国のケニア政府は、ウガンダ政府はEACの承認を得て派兵しているわけではない旨表明している。ウガンダ政府は、AU総会において、AU安全保障理事会に対し、IGADが決議した5,500名の南スーダン派兵を承認するよう求めた(21日付デイリーモニター紙3面及び22日付オブザーバー紙3面、30日付ニュービジョン紙12面)。

・13日、コンゴ(民)軍(FARDC)及びUPDF関係者は、コンゴ(民)東部に潜伏するウガンダ反政府勢力ADF及びNALUに対する軍事行動戦略につき協議した(15日付ニュービジョン紙4面)。

【経済】

・南スーダン情勢の悪化により、果物や野菜の輸出ができなくなり、食料価格が下落(3日付デイリーモニター紙10面)。

・ウガンダ政府、アルバート湖周辺の10油田に対する生産免許申請を審査中である旨述べた(8日付ニュービジョン紙26面及び同日付デイリーモニター紙7面)。

・アジェドラ(Gabriel Ajedra)投資担当国務大臣は、鉱物資源、農産物加工、観光業及び情報技術分野に投資した者には無料で土地を提供する旨発言(10日付ニュービジョン紙3面)。

・東アフリカ共同体(EAC)メンバー国、来月より共通観光ビザを導入予定(22日付デイリーモニター紙3面)。

・スタンダード・アンド・プアーズ社、政府歳入の減少及びドナーによる援助一時停止にもかかわらず公共投資が増加したことを理由に、ウガンダの長期外貨建て・内貨建てソブリン格付けを「B+」から「B」へ格下げ(22日付デイリーモニター紙28面)。

・初の国家労働調査によれば、ウガンダの正規(formal)雇用者の平均月給は50万シリング(約200米ドル)、非正規雇用者の平均月収は12.33万シリング(約49.32米ドル)であることが判明(24日付ニュービジョン紙3面)。

・中国港湾工程有限責任公司(China Harbour Engineering Company)、ウガンダの北部及び東部鉄道建設の改良工事を請負う旨発表(24日付ニュービジョン紙5面)。

・昨年までに、ウガンダ国内で開業した中国企業数は360社に上り、これによって4.8万人分の

雇用が創出された(30日付デイリーモニター紙28面)。

・IMF, インフラ投資を増加させるため, 非譲許的借入の限度額を15億米ドルから22億米ドルに引き上げたいとするウガンダ政府の要請を承認(29日付デイリーモニター紙27面)。

・1月のインフレ率6.9%(前月6.7%)。

【経済協力】

・中国, PKO 部隊として派遣されるウガンダ軍の能力開発のため, 無償資金200万中国元(約332万米ドル)をウガンダ軍に供与(1日付ニュービジョン紙4面)。

・ノルウェー政府, 気候変動・環境及び農業研究における能力開発を支援するため, マケレレ大学に74億シリング(約296万米ドル)を供与(16日付ニュービジョン紙4面)。

・エジプト政府支援により, 西部ウガンダのントウガモ(Ntwugamo)県のイトジョ(Itojo)病院に, 医療従事者のための住居(6億シリング, 約24万米ドル)が建設された(20日付ニュービジョン紙12面)。

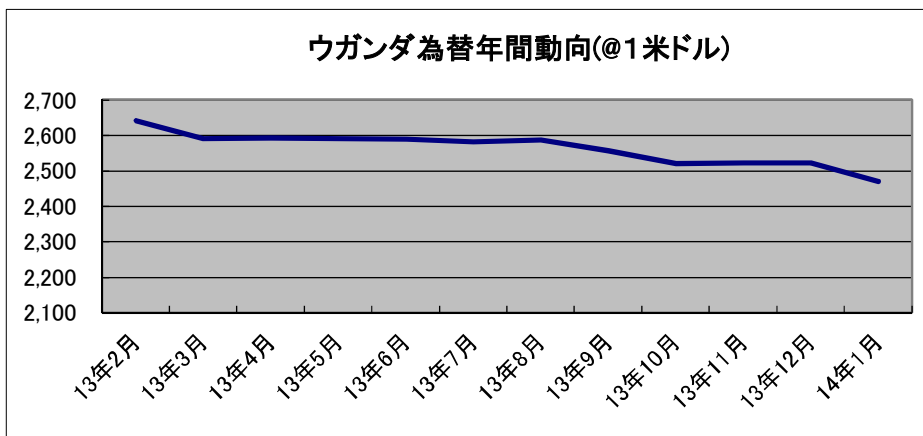
・28日, ムセベニ大統領や当地出張中の田中 JICA 理事長が出席し, 我が国有償資金協力「ナイル架橋建設計画」の起工式が実施された(29日付ニュービジョン紙1及び3面及び同日付デイリーモニター紙6面は右報道)。

・ジャネット・ムセベニ(Janet Museveni)カラモジャ地域担当大臣(大統領夫人), ラジャパクサ(Shiranthi Rajapaksa)スリランカ大統領夫人と共に, ウガンダ NGO の「孤児を救うためのウガンダ女性の努力」に対し, 職業訓練校を建設(費用約132万米ドル)する旨発表(27日付ニュービジョン紙8面)。

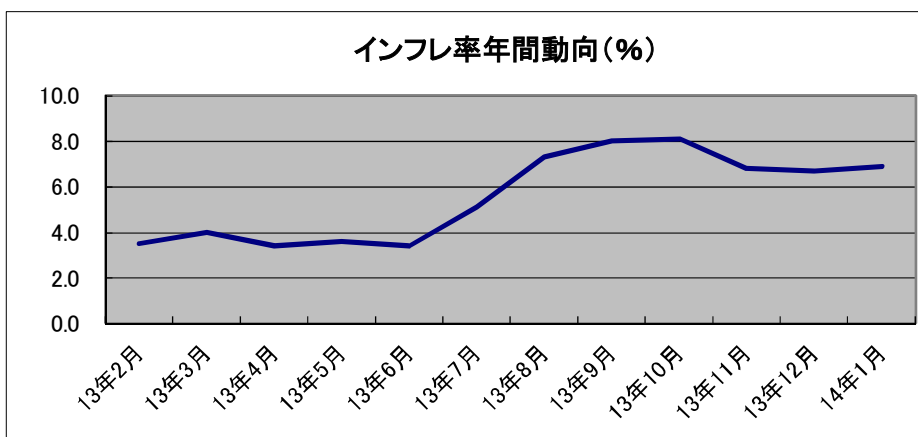
・スウェーデン, ノルウェー, 米国, カーネギー・コーポレーション(ニューヨーク)及びマスターカード財団は, 石油や保健, 社会科学及び環境などの分野における研究費としてマケレレ大学に対し761.6万米ドルを供与(30日付ニュービジョン紙4面)。

(別紙)2014年1月主要経済指標(ウガンダ中央銀行, 1月31日付)

・ウガンダ・シリング為替相場@1米ドル:2470. 27シリング



・インフレ率(前期比年率):6. 9%



・政策金利:11. 5%(前月:11.5%)

